

広島交響楽団

秋山和慶のディスカバリー・シリーズ

シベリウス生誕150周年 シンフォニー全曲シリーズⅢ

The 150th anniversary of the birth of Sibelius ~Symphony series Ⅲ~

2015.11.27 [金] 18:45開演 (17:45開場) JMSアステールプラザ大ホール



指揮：秋山和慶
Cond. Kazuyoshi Akiyama

Program

シベリウス：「恋するもの」 Op.14
Sibelius: Rakastava Op.14

シベリウス：交響曲第3番 ハ長調 Op.52
Sibelius: Symphony No.3 in C major Op.52

シベリウス：交響曲第5番 変ホ長調 Op.82
Sibelius: Symphony No.5 in E-flat major Op.82

- チケット料金/S席：5,200円 A席：4,200円 B席：3,200円 学生券：1,000円 (学生券は広響事務局のみで取り扱い)
- チケット発売日/一般プレイガイド2015年9月27日(日)/広響事務局2015年9月28日(月)
- チケット取扱い/JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、エディオン広島本店、福屋八丁堀本店、福屋広島駅前店、アルパーク天満屋、広島アーツ楽器、チケットぴあ(Pコード251-987)、ローソンチケット(Lコード66411)、中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所(取り寄せ)、広響事務局

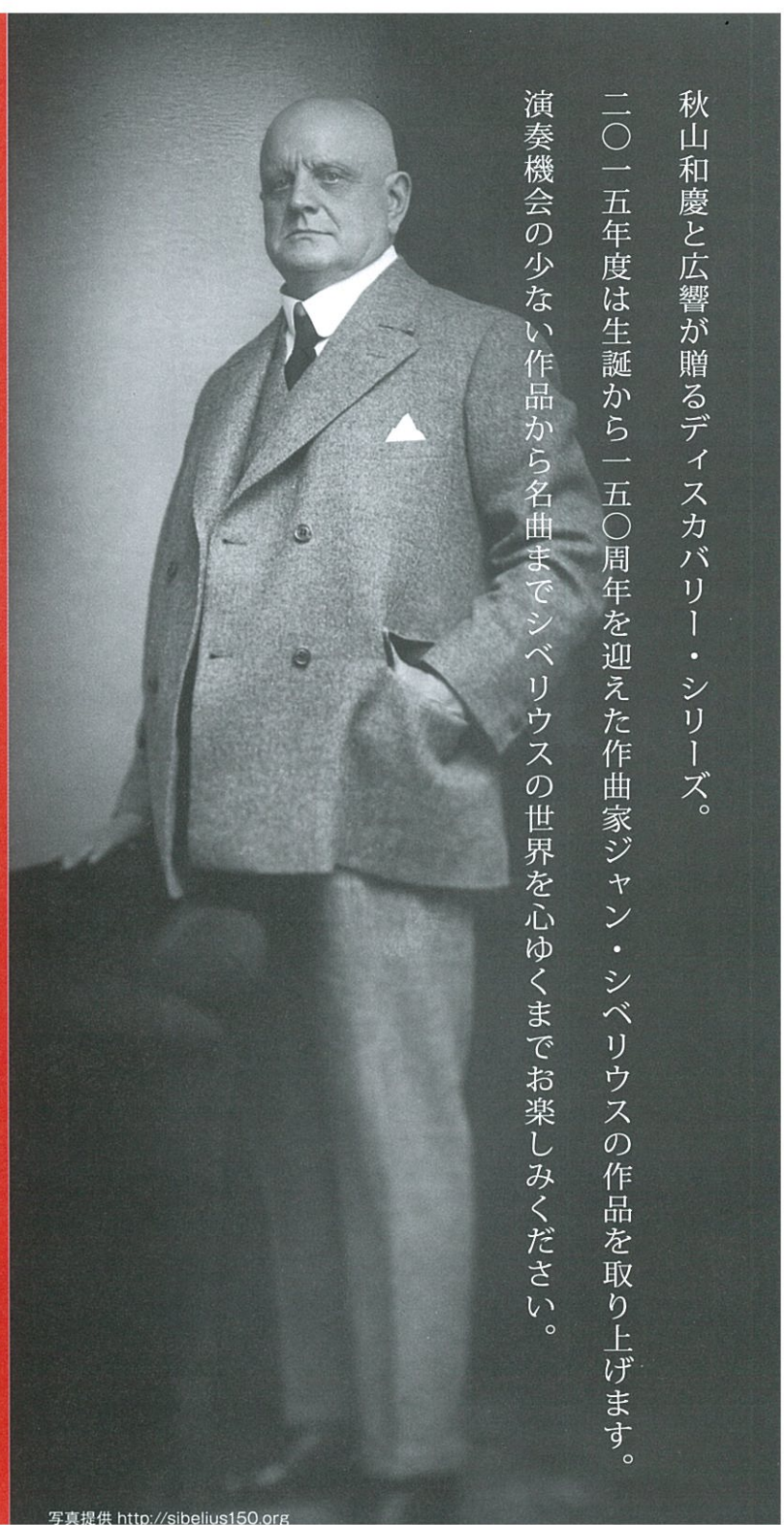
主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社 共催/公益財団法人広島市文化財団
協賛/中国電力、広島銀行、広島電鉄、マツダ 後援/広島市、広島市教育委員会

助成/  公益財団法人アフィニス文化財団、 文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅られた場合、入場に制限がございます。

お問い合わせ/広響事務局 TEL 082-532-3080 E-mail:info@hirokyo.or.jp http://hirokyo.or.jp/

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA



秋山和慶と広響が贈るディスカバリー・シリーズ。
二〇一五年度は生誕から一五〇周年を迎えた作曲家ジャン・シベリウスの作品を取り上げます。
演奏機会の少ない作品から名曲までシベリウスの世界を心ゆくまでお楽しみください。

写真提供 <http://sibelius150.org>

広島交響楽団

秋山和慶のディスカバリー・シリーズ

シベリウス生誕150周年シンフォニー全曲シリーズⅢ



指揮/秋山 和慶

1941年生まれ。故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。トロント交響楽団の副指揮者を皮切りに、アメリカ交響楽団音楽監督、バンクーバー交響楽団音楽監督（現在桂冠指揮者）、シラキュース交響楽団音楽監督（現在名誉指揮者）を歴任。サンフランシスコ交響楽団、クリーヴランド管弦楽団、ロスアンゼルス・フィル、フィラデルフィア管弦楽団、ニューヨーク・フィル、ボストン交響楽団、シカゴ交響楽団、ロイヤル・フィル、ケルン放送交響楽団、スイス・ロマン管弦楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団などに客演している。

1998年に広島交響楽団首席指揮者・ミュージックアドバイザーとなり、2004年には音楽監督・常任指揮者に就任。定期演奏会やディスカバリー・シリーズ、2度の海外公演（ロシア、韓国）などで広響の能力を飛躍的に伸ばし、各方面から高い評価を受けている。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞、川崎市文化賞、広島市民賞、中国文化賞をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽大賞、モービル音楽賞を受賞のほか、紫綬褒章、旭日小綬章なども受章。2014年度文化功労者に選出。2015年6月、第23回渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。

現在、広島交響楽団音楽監督/常任指揮者、東京交響楽団桂冠指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団アーティストック・ディレクター/プリンシパル・コンダクターを務めている。



特定のテーマに基づいた広響のディスカバリー・シリーズだが、今年度はシベリウス生誕150年に因み、彼の交響曲全曲を取り上げるところがチャレンジングである。シベリウス作品に特有の緻密な構築性、澄明さ、幻想的な詩情を表現するのはなかなか難しいが、ここ数年の秋山&広響のコンビのきわめて中身の濃い充実した演奏からみて、理想的なシベリウスを聴かせてくれることが期待できよう。交響曲以外の珍しい曲をいくつか組み合わせている点も意欲的である。
(アフィニス文化財団オーケストラ助成委員 寺西 基之)

次回ディスカバリー・シリーズのお知らせ

シベリウス生誕150周年シンフォニー全曲シリーズⅣ

2016.2.26 [金] 18:45開演 (17:45開場) JMSアステールプラザ大ホール

[PROGRAM]

シベリウス：交響曲第6番 二短調 Op.104

「春の歌」Op.16

交響曲第7番 八長調 Op.105

[チケット料金]S:5,200円、A:4,200円、B:3,200円、学生:1,000円 [チケット発売日]一般プレイガイド2015年12月26日(土)/広響事務局2015年12月28日(月) 助成/公益財団法人 花王芸術・科学財団

ノルディックサウンド広島 津田忠亮

作曲家の再発見(ディスカバリー)の旅に出ます。

「交響曲とは何か」をフィンランドの自然の中に思考した

秋山和慶と広響は第二代音楽監督の渡邊暁雄の志を継ぎ、

それから100年、シベリウスの生誕150年にあたる年、

シベリウスは日記にそう書きました。

交響曲第5番を作曲中の1915年、

”神がモザイクの断片を天上から投げ下ろし、元の姿に戻すよう言っている。”